

計画の概要	
策定自治体	愛媛県
計画区域	松山市、東温市、伊予市、松前町
計画期間	令和6年6月から令和8年度

主な事業内容と効果

①

全線共通フリー乗車券の導入

市内電車と郊外電車を乗り継ぎする際に割安な共通フリー乗車券を新たに設定することで、アクセス利便性向上と公共交通の利用促進につなげる。また、スマートフォンアプリ上にて乗車券を販売することにより、キャッシュレス決済を推進し、運行の定時性確保、利便性の更なる向上が期待できる。

②

郊外電車(高浜線・横河原線・郡中線)における新造車両の導入

車椅子スペースや転落防止幌・LCD車内次駅表示器を備えバリアフリー基準に適合し省エネルギー化された車両を18両(6編成)代替えることにより、郊外電車車両のバリアフリー化率向上に寄与する。

	伊予鉄道 郊外線車両バリアフリー化率
令和5年度末	56.6%
令和6年度末	75.5%
令和7年度末	86.8%
令和8年度末	100.0%

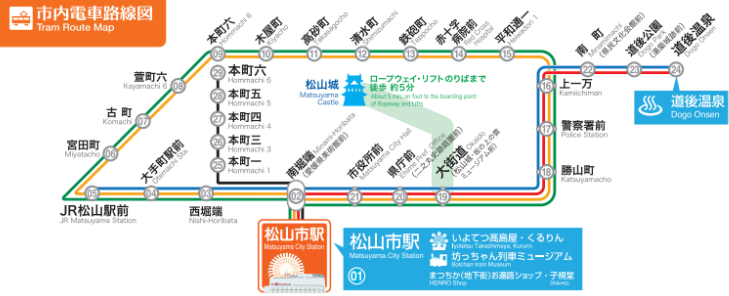
車両導入スケジュール

- 令和7年2月 6両(1編成3両×2編成)
- 令和8年2月 6両(1編成3両×2編成)
- 令和9年2月 6両(1編成3両×2編成)

合計 18両(6編成)

フリー乗車券の導入区間


▼市内電車



市内電車路線図
Route Map

系統	路線番号	行先
1	松山市駅 → JR松山駅前 → 松山市駅	松山市駅 → JR松山駅前 → 松山市駅
2	松山市駅 → 大街道 → 松山市駅	松山市駅 → 大街道 → 松山市駅
3	松山市駅 → 大街道 → 道後温泉	松山市駅 → 大街道 → 道後温泉
5	JR松山駅前 → 大街道 → 道後温泉	JR松山駅前 → 大街道 → 道後温泉
6	松山市駅 → 道後温泉	松山市駅 → 道後温泉

▼郊外電車



高浜線 TAKAHAMA LINE
横河原線 YOKOHARAWARA LINE
郡中線 KUNICHI LINE

必要な資金の額及びその調達方法

(単位:千円)					
①フリー乗車券	調達主体	調達方法	令和6年	令和7年	令和8年
事業費総額			210	80	80
調達方法及び調達額	事業者	自主財源	210	80	80
②新造車両の導入	調達主体	調達方法	令和6年	令和7年	令和8年
事業費総額			1,266,000	1,272,000	1,272,000
調達方法及び調達額	事業者	自主財源	650,446	779,930	778,299
	国	鉄道事業等におけるネットワーク型低炭素化促進事業	615,554	492,070	493,701